

## 鋼材事業の構造改革について

当社鋼材事業は極めて厳しい経営環境に直面しており、抜本的な競争力強化が必要とされております。現在、製鉄所の競争力強化に向けて、新溶銑予備処理工場、新厚板熱処理炉、高効率自家発電設備などの大型投資を決定し、既に実行に移しておりますが、中長期的な需要動向を踏まえた最適生産体制の構築、及び更なる合理化を進めるために、2017年度を目処に、神戸製鉄所の上工程設備を加古川製鉄所に集約いたします。

本設備集約にあたり、加古川製鉄所にブルーム連続鑄造設備と溶鋼処理設備を新設するとともに、加古川2分塊工場の能力増強投資を実施いたします。一連の設備が完工し、品質及び安定操業が確立した段階で、神戸製鉄所の高炉をはじめとする上工程設備を休止する計画です。これにより、上工程の余剰設備能力の解消と、コスト競争力強化を図ります。

新設するブルーム連続鑄造設備については、神戸製鉄所に蓄積された特殊鋼の製造技術ノウハウを結集した最新鋭の設備になります。この最新鋭の連続鑄造設備と、高級鋼製造に不可欠な新溶鋼処理設備の活用により、品質競争力や納期対応力を更に強化し、特殊鋼線材・棒鋼、自動車用高張力(ハイテン)鋼板、エネルギー分野向け厚板等のオンリーワン製品の拡販を実現します。

当社鋼材事業は、コンパクトかつ高効率な製鉄所において、独自性を最大限活かした競争力ある技術・製品を提供する鉄鋼メーカーを目指し、構造改革を実行してまいります。

また、休止する神戸製鉄所の高炉跡地の活用策として、電力供給事業の拡大の可能性を今後検討していきます。鋼材事業の構造改革と電力供給事業の拡大により、当社の収益構造の改革を図り、安定した収益基盤の構築を目指していきます。

< 生産プロセスフローの概要 >

